

# キャリア教育通信

群馬県立館林特別支援学校  
令和4年9月2日  
第6号  
進路指導部

## ◎現場実習報告3

引き続き、7月5～9日に行われた中学3年生の現場実習について報告をします。

### (5) 社会福祉法人 館邑会

障害福祉サービス事業所 陽光園「生活介護」

#### 1日のスケジュール

9:20 10:00 10:10 12:00 13:00 14:30 15:00

出勤	ラジオ体操	作業①	昼食・休憩	作業②	掃除	終了
----	-------	-----	-------	-----	----	----

#### 実習内容

##### ポーション分別 (作業①)



しっかりとポーションのふたを見えています。

##### がんばり表 (作業①)



自分のがんばりを見て分かる形にシールを貼っています。

##### ヘッドカバー伸ばし (作業①)



カバーを裏返しにし、両手でしわ伸ばしをしました！

##### ヨーグルトのふた部分の分別 (作業②)



取りづらいときは、「手伝って欲しい」と伝えることもできました♪

## 実習内容

### ポーション分別（作業②）



いつも学校とやっているように、しっかりと仕事ことができました。

### 昼食



お弁当のハンバーグがおいしい！  
午後へのパワー補給中◎

### ポーション分別（作業②）



落としてしまったふたを自分で拾っています。

### 昼休み



昼休みには絵を描いてリフレッシュ！

## ◎現場実習とキャリア教育の中で育成すべき力

今回は現場実習の中で見られた②みつめる力について考えてみました。

### ②「みつめる力」

キャリア教育通信第1号でお伝えしました②自己理解・自己管理能力—「みつめる力」の視点から自分の役割を意識できた場面を振り返ってみます。学校ではクラスの係の仕事や友だちと協力して学習する際や作業学習等様々な場面で、それぞれ自分の役割をもって取り組む機会があります。お互いに「ありがとう。」と声を掛け合うことも学習していますが、日々学校の作業で行ってきたポーション分別やCD解体をいつもと違う実習先で行い、どの生徒も「ありがとう。」と声をかけてもらっていました。役割を果たすことができ、「ありがとう。」と言ってもらい、きっと自信につながり、自分が役に立っていると感じる事ができたと思います。これが働くことの意欲につながります。この「できたね。」を「ありがとう。」にしていくことを、家庭と家庭で協力して取り組んでいくことが大切だと考えています！

